

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和6年2月8日(木) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和6年2月8日(木) 午後3時12分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 小 林 良 江

教育長職務
代 理 者 神 宮 嘉 一

委 員 田 野 内 明 美

委 員 塩 野 有 希

委 員 新 井 英 夫

事 務 局 (説明員)

教育部長 青 柳 正 典

公民館担当部長 川 嶋 昭 人

学校教育担当部長 大 澤 好 則

教育総務課長 小 池 郁 生

社会教育課長 茂 原 久 美 子

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 山 口 順 子

中央図書館次長 齊 藤 寛 方

教職員課長 岡 田 朝 夫

学校教育課長 依 田 哲 夫

健康教育課長 長 岡 誠

教育センター所長 清 水 さとみ

高崎経済大学附属高等学校事務長 新 井 史 代

書記 教育総務課 宮 澤 信 宏

2月8日	会議に附した事件
議案第5号	令和6年度高崎市教育行政方針について
議案第6号	令和5年度高崎市一般会計補正予算（3月議会提出分）教育費見積書の提出について
議案第7号	県費負担教職員の人事について
報告連絡事項	令和5年度全国健康づくり推進学校表彰等の受賞について
	令和5年度群馬県教職員表彰の受賞について
	令和5年度高崎市立学校卒業式等の日程等について
	令和5年度高崎市教育センター「春の教育セミナー」の開催について

高崎市教育委員会 2 月定例会会議録

教育長（小林良江）

これより、高崎市教育委員会 2 月定例会を開会いたします。

それでは、議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指定といたしまして、会議録署名人に、神宮教育長職務代理者と田野内委員を指名させていただきます。よろしくお願ひいたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認いたします。

教育長（小林良江）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第 5 号「令和 6 年度高崎市教育行政方針について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。

（小池 教育総務課長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、本案に対してご質問等ございますか。

教育長職務代理者（神宮嘉一）

「施策の視点」の 3 と 6 についてお聞きします。12 ページの「交通教室事業」は、以前、目標を設定する時に 100% が良いのではということで、目標が 100% になりましたが、令和 4 年度の実績として、事業に効果があると答えた学校の割合が 98% となっています。おそらく 1、2 校が「もう少し効果があっても良いかな」と答えたのだと思うのですが、本来なら毎年 100% が望ましいです。より効果を求めている学校、そういったところに対しての改善をしていただいた中で、是非 100% を達成していただきたいというのが 1 つです。続いて、先日、上野三碑を見させていただきました。多胡碑は行ったことがありましたが、他は初めてでした。説明も丁寧にしていただきまして、非常に良い機会となりました。ただ、周辺の自然との調和や住居も近くにありまますので、むやみに標識を出したり、来場者を増やしたり、なかなか一概にはいかないと思います。22 ページの「歴史民俗資料館運営事業」の入館者数では、歴史民俗資料館が 5,000 人くらい、榛名歴史民俗資料館が 3,000 人くらいとあります。例えば、榛名神社の参拝者数と比べると、人数的にどうなのでしょう。駐車場の停めやすさや、これから年齢を重ねた方も増えてきますので、よりアクセスしやすく安全に行けるようにしていただくだけでも、来館者数が飛躍的に伸びるような気がします。予算をさほどかけずに少しの工夫を持って、地元の文化や歴史を知る機会を皆さんに触れ合いやすくしていただきたいと思います。

教育長（小林良江）

ありがとうございます。

それでは、最初の交通教室事業についてお願いします。

健康教育課長（長岡誠）

昨年度にご指摘をいただき、100%を目指すべきではないかということで、目標を変更いたしました。小学校3年生を対象とした交通安全教室での各学校の回答ですけれども、残りの2%という点は、子どもたちがより事故に遭わないよう取組を充実させて、改善してまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

教育長（小林良江）

次に、歴史民俗資料館運営事業についてお願いします。

文化財保護課長（角田真也）

歴史民俗資料館運営事業につきましては、上段は上滝町にある資料館、下段は榛名の資料館ということで、榛名神社の近くにあります。上滝町の資料館は、建物自体が登録有形文化財になっていまして、大規模な改修が難しい状況です。2階には階段でないと登れませんが、利用状況を見ますと、デイサービス等ではいらっしゃる高齢者の方々もいますが、1階のご利用で満足しているようです。また、バリアフリーについては、出入口でスリッパに履き替えるようになっていっていますが、履き替え等が困難な方については、靴のまま入ってもらう対応をしております。榛名の資料館は、数年前に車椅子のスロープを整備しました。神宮教育長職務代理者はご存知かと思いますが、上の段に停めるとそのまま入れるようになっていまして、今後も予算をかけずにできることはやっていきますので、よろしくお願ひいたします。

教育長職務代理者（神宮嘉一）

市の文化財とか全般的に色々と心配りしていただいて、より良い状況にしていいただければと思います。よろしくをお願いします。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（田野内明美）

「施策の視点3」の給食のところなのですが、「給食充実事業」ということで、地場産のものを使われるパーセンテージが令和4年度と同じく40%ということで、すでに色々と使われていて充実している状況かと思えます。また、子どもたちや先生方の給食の関心が高められたという数字は、皆さんの関心はかなり高く、実績と目標値が同じ数字なのかなと思えました。もう1つ、「給食運営事業」の中の給食残渣についてですが、調理をしていく段階で出る残りとお食べた物のかすが給食の残渣だと思います。実際に調理をすると、魚の皮とか野菜の切れ端が必ず出ると思うので、この数字はゼロにはならないと思っておりますが、これは調理の段階で出るものなのか、子どもの食べ残しなのか教えていただきたいです。

健康教育課長（長岡誠）

残渣につきましては、調理の過程で出るものと、子どもたちが食べ残したものを合わせたものです。

委員（田野内明美）

この数字が少ないのか、もう少し減らしたほうが良いのか、どの辺りなのでしょう。

健康教育課長（長岡誠）

令和4年度で、1年間で256tになります。できるだけ少なくなるように努めているところです。

教育長（小林良江）

残渣が少なければ少ないほど良いということで、取り組んでいると思います。引き続きよろしくお願いいたします。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

残渣の件で、リサイクルにかなりの量が回っていると聞いていますが、パーセンテージはどのくらいですか。また、動物の餌などにも回っていますか。

健康教育課長（長岡誠）

飼料化されるものもあります。256tの残渣のうち、32tが堆肥化、その堆肥のうち4.8tは学校で使用しています。飼料化と堆肥化、その2つになっています。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

リサイクルにも回っていますので、無駄にしないようにお願いします。

教育長（小林良江）

その他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

「施策の視点1」の「学力アップ推進事業」についてですが、昨日、学力向上推進会議に出席させていただきました、とても有意義なものでした。来年度の目標の参加児童生徒数が50,000人ということで、実績から比べて7,500人くらい増えることになると思うのですが、保護者としては、こういう機会を増やしていただけるのは大変有難いことです。それと同時に、私もボランティアを数年やっていたので、ボランティアの人手不足が当時からありまして、何回か募集をかけて、やっと人数が集まるという時もありました。子どもの延べ人数が増えると同時に、ボランティアの人数も必要になってくると思われます。7ページの「学校・家庭・地域連携事業」の地域人材を活用している割合というのが、他の事業に比べて実績が55%で、目標が65%ということで、この辺と繋げて両方が伸びていけたら良いと思います。また、昨日の池野先生のお話の中で、「サポートという形ではなくて、融和という表現をしたいと思っている」とありましたが、学校、子ども、保護者、地域のすべてがウィンウィンになるような関

係ができれば、ずっと続いていくと思います。この事業が10年目を迎えるということで、皆さんの熱い思いで続いてきたのだと思いますが、ボランティアの中には、初めからずっとやっている方がいらっしゃるって、20～30年となってきた時には、同じ方がずっとというのは無理なことだと思います。人数を増やすことですか、次のコーディネーターになる方ですか、担い手の中心となる方を育てるという側面を積極的にお願いできたらと思います。

学校教育課長（依田哲夫）

貴重な意見をありがとうございます。やはり、共働きも進んでいることから、なかなか時間に余裕を持つ保護者の方や地域の方々が少ないようになってきているのが現状です。しかし、昨日の会議のように、子どもが笑顔で参加してくださるボランティアの方も笑顔で過ごせる、とても素敵な時間ですので、これからも周知しながら、また、PTA活動でお手伝いをしていただいている方にも声を掛けつつ、事業が継続できるよう各学校にも周知を図っていきたいと思います。この事業が続きますように尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

教育長（小林良江）

昨日も大勢会議にいらしていただきました。活発なご答弁をなさっていたので、より良い案が出てきますことを願っています。

教育長（小林良江）

その他にいかがでしょうか。

委員（新井英夫）

私は理系出身なので、このような質問をさせていただきますが、先日、JAXAの月の探査機が、目標から55メートルの誤差で月に着陸したと報道がありました。世界初の偉業で、ピンポイント着陸は日本の科学技術の快挙だと私は思っています。3年前にも、「はやぶさ2」が約2億km離れた小惑星に、やはりピンポイントで着陸をして、サンプルを持ち帰ったという、これも世界で初めての快挙でした。このように、世界をリードする日本の科学技術に、もっとスポットを当てていただきたいというか、感動してほしい、もっとこれを若い人に伝えて夢を持っていただきたいと思います。そういう願いがありまして、何かそうした機会が設けられたら良いと思います。例えば、高校生ですと、スーパーサイエンスハイスクールだとか、そういう企画がありますが、小中学校は、そういう機会があるのかわかりませんが、文科省も、科学技術立国だということを言っています。私が大学生の頃は、1980年代は日本の半導体が世界をリードしていました。そういう時代があったのですが、一時低迷して、また最近スーパーコンピュータも第1位という富岳がありますし、今回もこういうJAXAの偉業というもの、夢を与えるものですので、何とか若い方に伝えたいという、そういう気持ちがあります。施策に具体的に対応していないのですが、あえて言いますと、「施策の視点1」の「キャリア教育推進事業」というものがあります。これは、高崎経済大学が高崎市にあるという利点を生かして、体験を通して大学に行って何かやっていただくようですが、理系、科学の方にもこういうのがあれば良いかなと思います。

学校教育課長（依田哲夫）

キャリア教育の実情をお話したいと思います。中学校におきましては、やるベンチャーウィークという、実際に企業に行って、5日間体験をするという活動があります。事前に各学校で保護者や企業の講師を招き、様々なジャンルの仕事の話子どもにしてください、仕事への希望や夢のために自分がどうしたら良いのかという、夢を持たせた上での実体験をさせていただいております。小学校につきましても、地域人材の活用で、地域の方から直接的なご指導をいただくことや、社会科見学で、実際に企業で働く人を見ながら、自分の将来の夢を持てるようにさせていただいております。また、教育委員会としては、教科書を離れた学習活動として、数学では、ジュニア数学オリンピックにチャレンジする講習を開催したり、英語教育については、小中学校全校にALTを配置していますので、ALTと対話をしたり活動をしたりしながら、教科書を離れたよりグローバルな活動に繋げるような、そんな活動をしているところです。

教育長（小林良江）

理系の方も、興味のある生徒には、学ぶチャンスがしっかりと与えられているとっております。それがもう少し広がり、周知されると違うかもしれません。

教育長（小林良江）

その他にいかがでしょうか。
（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。
それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することでご異議ございませんでしょうか。
（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議なしと認め、議案第5号は原案のとおり決しました。
続きまして、議案第6号「令和5年度高崎市一般会計補正予算（3月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。
（小池 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長（小林良江）

ただ今、事務局から秘密会での審議の申し入れがありました。議案第6号の審議を秘密会とすることでご異議ございませんでしょうか。
（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議ないようですので、秘密会といたします。

（秘密会）

教育長（小林良江）

それでは、秘密会による審議を終了いたします。

教育長（小林良江）

続く議案第7号は、新年度の人事に関する事項のため、関係者による秘密会での審議となりますので、先に報告連絡事項等に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議ないようですので、報告連絡事項「令和5年度全国健康づくり推進学校表彰等の受賞について」及び「令和5年度群馬県教職員表彰の受賞について」の説明をお願いいたします。

（長岡 健康教育課長 説明）

（岡田 教職員課長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質問等ございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。続きまして、「令和5年度高崎市立学校卒業式等の日程等について」の説明をお願いいたします。

（依田 学校教育課長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質問等ありますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。続きまして、『令和5年度高崎市教育センター「春の教育セミナー」の開催について』の説明をお願いいたします。

（清水 教育センター所長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質問等ありますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。報告連絡事項は以上となります。

教育長（小林良江）

その他に事務局から何かありますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長（小林良江）

次に委員の皆様から、ご意見、ご質問等ございますか。

教育長職務代理人（神宮嘉一）

先程、塩野委員からお話がありましたが、私も学力向上推進会議に参加させていただきました。色々な会議がある中で、参加者が発言する機会もあり、目をキラキラ輝かせ、熱量を感じる良い会議だったと思います。学校コーディネーターの方、校長先生、地域の方、PTAや保護者の方々と、知っている顔ぶれもいました。話を聞きましたら、立ち上げの時から、10年やっていると嬉しそうに話してくれました。推進委員をやっている高校の校長先生と話をしましたが、初めてこういう場面を見て、高崎の教育の下支えというのは、そうした方々のお力添えをいただきながら、作られているのだなと本当に感心していました。皆さんにお伝えしておきます。

教育長（小林良江）

ありがとうございました。

教育長（小林良江）

その他にいかがでしょうか。

委員（田野内明美）

今週の月、火曜日と大雪が降りまして、高崎市でも警報が出るくらいの大雪だったと思います。5日から6日の朝にかけて、小、中、高校で、子どもたちに対して学校はどのような対応をしたのか教えてください。

健康教育課長（長岡誠）

児童生徒の安全確保を第一に、教育委員会内で対応を検討しました。5日の午前中の降雪に関して、登下校時の安全や設備の点検等の注意喚起を出させていただきました。また、市長部局の防災安全課等と連携をしながら、気象台の発表等を情報収集し、合わせて教育委員会で、倉渕や榛名など、それぞれの学校に電話をしまして、どんな状況か確認をしました。5日の下校時刻については、各学校の状況に応じて判断していただいて、早帰りをする小中学校もいくつかありました。6日については、当時、午前中はまだ注意報でしたが午後には警報に変わりました。児童生徒の安全を第一に考えて、全市2時間遅れで登校ということで対応しました。6日の朝は、通学路や校庭で通ってくる道等の除雪作業をしまして、だいたい10時から10時半頃には、子どもたちを迎え入れるという形を整えました。なお、この雪による子どもたちの怪我、事故等の報告は入っていませんので、各学校が安全指導を徹底して行い、保護者や地域と連携して対応した結果、子どもたちは安全に学校生活を送ることができました。

高崎経済大学附属高等学校事務長（新井史代）

附属高校は、5日は通常の授業6時間目が15時50分までだったのですけれども、そこまでは通常で行いましたが、帰宅が難しい生徒については帰宅を促し、放課後の部活は全て中止にしました。また、遠方から来ている生徒もいましたので、親の迎えを待

つ間は、20時半くらいまで自習室で待機をしていただきました。翌日は、通常通りの登校としましたが、電車の遅れ等に関しては、遅刻扱いとしない対応を取りました。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（新井英夫）

先程言い忘れたのですが、うちでは何年も前から、やるベンチャーの受け入れをしていますが、生徒の皆さんは自転車です。たぶん、いつもとは違うルートでいらっしゃるのだと思うのですけれども、やるベンチャーの場所に行くことの安全に関して、何か注意されていることはありますか。

学校教育課長（依田哲夫）

まず、やるベンチャーは学校を離れての活動になりますので、その時に起こった事故や商品を壊してしまった場合の補償については、全て保険に入っております。また、事前指導として、各学校から事業所まで、活動の日が初めて行くというのではなくて、何度か事前の打ち合わせ等をしながら、道のりの安全確認等、例えば、担当教員等も初めて行くところについては、事前に教員が行ってどういうルートで行くか、その辺りを確認した上で、子どもが安全に行けるように考慮しているところです。

教育長（小林良江）

他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

教育委員になる前から、法教育というのを小中学校でやらせていただいておりますが、今年も高崎市内の約10校で行いました。事前に学校へ伺って打ち合わせをして、どのようなことで困っているか、子どもたちに伝えたいテーマを聞いています。SNSのトラブルというものはこの学校でも必ず出てきます。5年前から始めたのですけれども、変わりません。今年、すごく感じたのは子どもたちが借りているタブレットの使い方について、子どもたちが無償で借りているので、使用貸借契約というものにあたると思うのですけれども、借りるということのルールというか、義務や責任について、きちんと法律的に説明をしてもらえないかというオーダーが今年は凄く多かったと思っています。タブレットがだんだんと自分の物のような錯覚をする等、先生達が見ていても、ポンと放り投げるとか、体育の授業でもすぐ脇に置く等、あまり大切に扱わなくなって目に余るということです。それで、先生達が注意してもあまり響かないというので、法律的な話をしてほしいということでした。実際に故障したことがある学校もありまして、「どうやって直したのですか」とお聞きしたら、その時は高崎市が直してくれましたとおっしゃっていました。ただ、法律で言ったら、本来は壊した方に損害賠償の責任があると思いますし、そういう考えが子どもにはもちろん無いですし、親の方にも学校から借りているものを壊したら、親が弁償しないといけないのだという意識はあまりないのかなと感じました。これから新学期になって、新しくタブレットを手にする学年の子ですとか、私も親として承諾書にサインをしたような気はするのですけれども、改めて人から借りているものなのだから、大事に使わなければいけない、それなりの責任感を持つ

って使わなければいけないということが、子どもたちとその親にも伝わるようなことがあれば良いなと思っております。

学校教育課長（依田哲夫）

学校教育課からも、学校あるいは児童生徒、あと保護者向けにタブレットの使用についての注意事項、コンプライアンス等を紙面で配布しております。保護者には、塩野委員から話がありましたように、借用書のようなものに一筆いただくということ、それを基に大事に扱うということを周知しているところです。また、故障につきましては、故意に壊した場合については保護者負担になっておりますが、それ以外の故障については、市で保険に入っておりますので、保険内で行い、直ぐに修理ができない場合につきましては、予備がありますので、それを貸して、学習に遅滞が無いように対応しているところです。また、新年度に向けて、これからタブレットのルーティン等もありますので、そこで学校には周知していきたいと思っております。

教育総務課長（小池郁生）

参考ですが、タブレットは外での活用もありますので、どうしても故障はあります。少し古くなるのですけれども、令和4年度中の故障の台数は、536台ありました。先程、話にあったように、全て市と業者で対応しております。全体の30,257台からすると1.8%弱ですので、子どもたちは大事に使っていると感じております。

教育長（小林良江）

その他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。

それでは、議案第7号に戻ります。本件については、新年度の人事に関する事項ですので、秘密会により審議したいと思っておりますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

ご異議ないようですので、これより議案第7号を秘密会により審議いたしますので、関係者以外は退席をお願いいたします。

（秘密会）

教育長（小林良江）

以上で予定していた議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会2月定例会を閉会いたします。

大変ご苦労様でした。